

木曽地域 ～ 未来につながる木曽の豊かな農業・農村と食 ～

■達成指標

重点 取組	達成指標	現状 (2021(R3)年)	実績 (2024(R6)年)	計画 (2026(R8)年)	目標 (2027(R9)年)
1	「地域計画」の策定数	0	15	22	22
	新規就農者数(49歳以下)	3人/年	2人	2人/年	2人/年
2	米の1等米比率	78.9%	67%	85%	85%
	「御嶽はくさい®」栽培面積	50ha	43ha	46ha	45ha
	「木曽子牛」出荷頭数	5.7頭/戸	5.3頭/戸	5.95頭/戸	6.0頭/戸
	花き・花木類の栽培面積	2.3ha	2.4ha	2.4ha	2.4ha
3	野生鳥獣による農作物被害額	12.8百万円	10.2百万円	11.9百万円	11.8百万円
	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	493ha	485ha	489ha	489ha
	農業用水を活用した小水力発電の設備容量	34.4kw	366kw	366kw	366kw
4	伝統食材提供店舗数(木曽牛、すんき、木曽産そば)	57店	57店	59店	60店
	伝統野菜の栽培面積(王滝無など7品種)	2.1ha	1.9ha	2.1ha	2.1ha

重点取組1：多様な担い手が支えあう木曽の農業・農村

- 地域の関係者が一体となって話し合い、めざすべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定・実行を支援
 - ・ 地域計画の実現に向けた農地の最適化（農地利用最適化活動 6町村）
 - ・ 地域計画の推進に係る課題解決の支援（3町村）
- 就農相談会、移住・定住フェア等での木曽農業の情報発信、PRによる担い手確保対策の推進
 - ・ 円滑な就農を支援するため、就農相談を実施（5回、15人）
- 新規就農里親研修事業等を活用した新規就農者の育成
 - ・ 新規就農者の受入体制を整備するため、就農連絡会を開催（1回、14人）
- 農業入門講座の開催による定年帰農者への支援
 - ・ 農業に対する知識を深めるため、農業講座を開催（5回、10人）
- 高校と連携した食の魅力発信と、高校生の就農への意欲を向上
 - ・ 高校生の就農への意欲高揚を図るため、魅力発見セミナー等を開催（4回、40人）
- その他
 - ・ 新規就農者の経営開始支援（経営開始資金1名）
 - ・ 課題解決能力向上を図るため、カイゼン手法導入へ誘導（1団体）
 - ・ 農村女性の活躍の場を増やすため、研修会を開催（1回、10人）
 - ・ 農福連携による農業労働力の確保育成支援（1回）

重点取組 2：木曽ブランドを支える産地づくり（土地利用作物、園芸品目、畜産振興）

- 斑点米カメムシ類の適期防除支援と収穫適期情報の提供による 1 等米比率向上
 - ・ 1 等米比率を高めるため、病害虫・雑草防除指導会を開催（3 回、350 人）
 - ・ 斑点米カメムシ類の苗箱施薬と空中防除 2 回体系の効果実証ほ場の設置（2 か所）
 - ・ 単収向上を図るため、適期追肥を指導（2 回、350 人）
- 「御嶽はくさい®」の品質及び生産性の向上
 - ・ 高温期収穫作型における白マルチ資材による高温障害回避試験ほ場設置（1 か所、情報共有 1 回）
 - ・ 木曽に適した品種を選定するため、調査ほ場を設置（1 か所、情報共有 1 回）
 - ・ 安定生産を図るため、土壌養分の実態把握（調査ほ場 6 か所、情報共有 1 回）
- 畜産クラスター協議会と連携したクラスター事業の推進
 - ・ 家畜の長命連産を目的とした飼養管理の改善を提案（5 戸）
 - ・ 自給飼料の生産拡大を図るための研修会を開催（1 回、20 戸）
 - ・ 特定家畜伝染病の発生に備えた体制整備と意識統一の実施（1 回）
- 地域に適応した花き・花木の生産支援
 - ・ 啓翁桜の早期出荷による生産振興を図るため、年内出荷技術を提案（2 回、10 人）
 - ・ 新規花木の生産拡大と生産者を確保するため、現地検討会を開催（1 回、5 人）
 - ・ 切り花の生産振興を図るため、現地指導会を開催（3 回、10 人）
- その他
 - ・ 酒米の生産拡大と生産者を確保するため、現地検討会を開催（1 回、30 人）
 - ・ 野菜の軽量園芸品目の生産振興を図るため、個別指導を実施（各 10 回、2 人）

重点取組 3：みんなが生き生き暮らせる、持続可能な農村づくり

- 関係者一丸となった捕獲、防除、環境整備等の野生鳥獣被害対策の推進
 - ・ 適切な防止対策を啓発するため、侵入防止柵の点検指導を実施（1 回、10 か所）
 - ・ 鳥獣被害防止対策交付金事業を活用した対策の推進（5 地域協議会）
- 多面的機能支払事業及び中山間直接支払事業の一層の PR による取組拡大と活動支援
 - ・ 取り組み組織数の維持及び活動の支援（多面 20 組織、中山間 57 組織）
- 多面的機能支払事業の事務手続き研修会、水路等の維持補修に関する講習会の開催
 - ・ 多面的機能支払事業の事務手続き研修会、水路等の維持補修に関する講習会の開催（2 回）
- 農業用水を活用した小水力発電施設の整備推進及び技術的支援
 - ・ 民間事業者の参入事例等による取組検証と各種調整等の技術的支援（木曽町他）
- その他
 - ・ 地域計画の目標を達成するため、地域懇談会の開催を支援（6 町村）
 - ・ そばの作付拡大を推進するため、現地指導会を開催（2 回、30 人）
 - ・ みどり戦略の意識高揚のため、環境に負荷をかけない取組を啓発（2 回、50 人）

重点取組 4：木曽ならではの食による地産地消と食育の推進

- 「木曽ならではの食材」を扱う店舗と連携した木曽地域の魅力発信
 - ・ 木曽の伝統食・地域食を維持するため、木曽の魅力を発信（1 回）
- 伝統野菜の栽培面積の維持
 - ・ 伝統野菜の生産安定を図るため、栽培指導会を開催（1 回、8 人）